

令和7年9月3日

報道機関各位

青森県立美術館

**アーティストの創作を仮想体験！ワークショップ  
「創作体験型ボードゲーム《アートギーク》で遊んでみよう！」を開催します**

青森県立美術館では、こどもたちがアートに触れる機会を創出するため、遊びを通して国内外作家の創作活動を仮想体験できるワークショップを下記の日程で開催します。

つきましては、取材・報道方よろしくお願いいたします。

記

- 開催日時  
令和7年9月27日（土）、28日（日）  
13：00～16：00
- 会場  
青森県立美術館 ワークショップB（地下1階）
- 内容  
アート・コレクティブ〈カタルシスの岸边〉が開発した新感覚のボードゲーム。青森県ゆかりの作家や国内外の様々な芸術家が用いていた素材、テーマ、アイディアによる創作を遊びを通して仮想体験できます。
- 対象者  
小学生～高校生 ※小学生の参加は保護者の同伴が必要です。  
各日30名
- 予約・参加料  
事前予約制・1プレイヤーにつき500円（材料費として当日支払い）  
※予約は当館ホームページまたはチラシQRコードから可能
- 取材について  
開催初日の9月27日（土）13：00から対応可能ですので、会場に直接お越しください。

| 報道機関用提出資料（連絡先） |                                  |
|----------------|----------------------------------|
| 担 当            | 青森県立美術館 美術企画課<br>教育普及担当 蓑島、境谷、松江 |
| 電話番号           | 017-782-1919                     |
| 所属長            | 青森県立美術館<br>副館長 工藤 泰正             |

創作体験型ボードゲームで遊んでみよう！

# ARTGEEK

## アートギーク青森県大会



2025年  
9月27日(土) 13:00-16:00  
9月28日(日) 13:00-16:00

青森県立美術館 ワークショップB(地下1階)にて開催

募集人数 | 各回30名

対象年齢 | 小学生～高校生※

参加費 | 500円(プレイヤー1名につき、材料費として当日お支払いいただきます)

持ち物 | 制作作業がありますので、汚れてもよい服装でご参加ください。\*

※保護者も同伴で参加可能です。  
※中学生及び高校生は一人でも参加可能。小学生以下は保護者の同伴が必要です。  
※完成作品は持ち帰ることができます。



応募ぴ切 9月24日

※応募人数に達し次第、受付を終了します。

アーティスト・コレクティブ〈カタルシスの崖辺〉が開発した新感覚ボードゲーム《アートギーク》。  
青森県ゆかりの作家や国内外の様々な芸術家が用いていた素材、テーマ、アイディアによる創作を仮想体験！

## アートギークのながれ

- 1** サイコロを転がして盤面を進み  
知識カードや経験カード、通貨を集めよう！



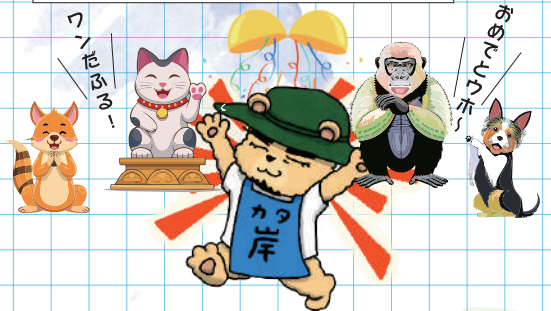
- 2** ゲットした通貨で素材を購入し  
作品づくりに挑戦！



- 3** 完成作品は「ゲームマスター」が審査。  
入手したカードを作品に反映させて高得点を狙おう！



- 4** 獲得した得点で  
アートギークチャンピオンを決定！



## カタルシスの崖辺からのコメント

「アートギーク」は、「人がつくったもの＝アート」と「深く探究する人＝ギーク」を重ねた名前です。鑑賞にとどまらず「のめり込む」姿勢を体験してほしい。そんな思いを込めています。

このゲームは上手さや勝敗よりも、試行錯誤を重ねる過程そのものを大切にします。ゲームで知った作家の作品を美術館で見つけたとき、きっと少し嬉しくなるはず。ゲームを終えるころ、新しい視点を手に入れたあなたはすっかり「アートギーク」になっているでしょう！

### カタルシスの崖辺

荒渡巖、海野林太郎、高見澤峻介を中心に 2017 年に東京で結成された「ショップ」をコンセプトとしたアートコレクティブ。プロジェクト毎に参加作家が変わるが、現在は大山日歩、栄倉志信、鈴木雄大、岡千穂、みずしまゆめを含めた 8 人が主なメンバーである。

誰にも公開したことがない、個人が手元で所有しているデータを「死蔵データ」と名付け、販売や競技を通じてそれらの価値の再考・再定義を図るプロジェクトを実践するなど、既存のアート市場のあり方とは異なる作品やデータ、貨幣の流通・循環をテーマとして活動している。

